

* * イ カ ナ ゴ 情 報 No. 3 * *

5月5日時点の主体は体長25-40mmと幅広い

終漁時期は5月下旬か

中央水産試験場
後志地区水産技術普及指導所岩内支所

調査の概要

今漁期の4月24日～5月5日に採集していただいた島牧海域のコウナゴ漁獲物標本の体長を測定し、現在までの資源状況を検討したのでお知らせします。

今漁期は体長の異なる3～6群のコウナゴが主な漁獲対象となっています(図)。初漁期(4月23日)に体長23～28mmだった主群は、5月上旬には35～40mm(図中の+, ●, *)に達しました。さらに漁期中に新たに小型群(×, △, ◆, ■)が加入し、5月5日時点で体長25～30mmとなっています。その結果、5月5日時点で体長25～40mmの幅広い群が漁獲対象となっています。今後は、小型群が成長しながら漁獲の主体になると予想されます。

成長速度は、一日あたり0.9～1.0mmと例年よりやや速めです。このままの速度で成長すると、小型群は、5月下旬までに40mm前後か、それ以上に達すると予想されます。したがって、現状の判断としては、5月下旬頃が終漁時期の目安と考えられます。

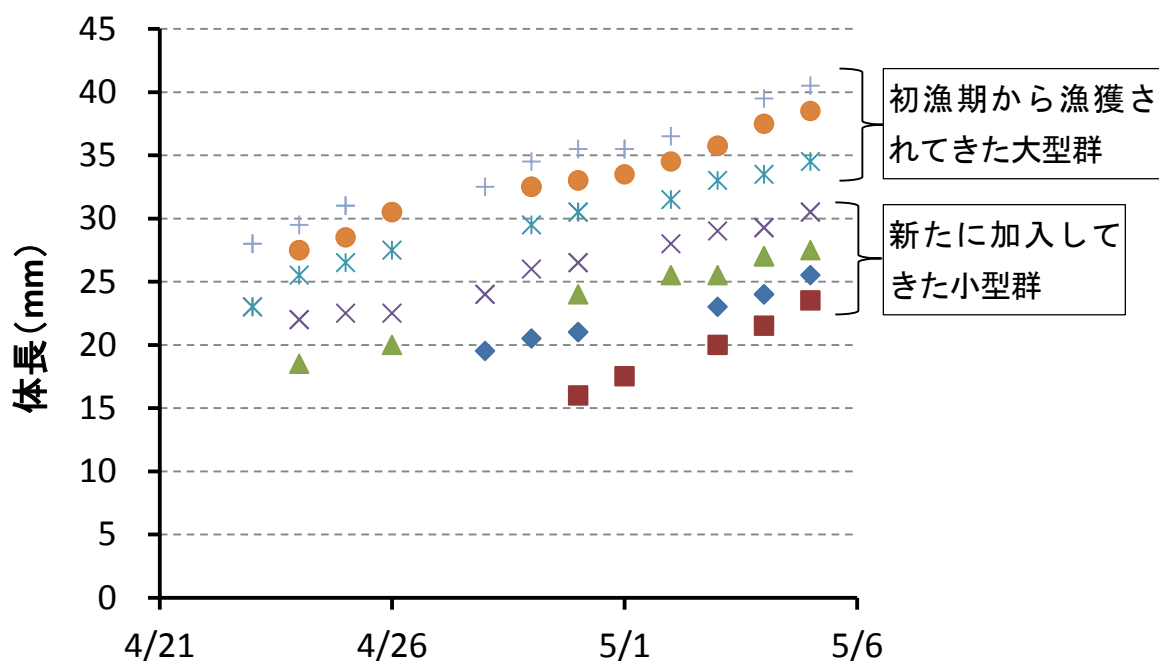


図 体長組成のモードの変化